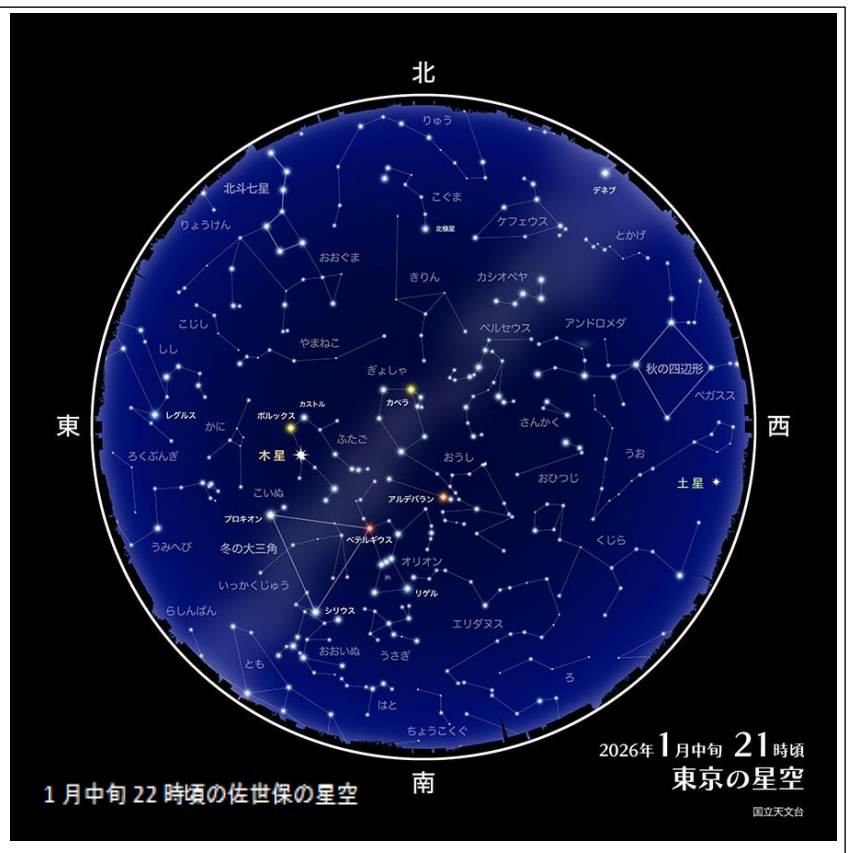
天文資料
2026年　1月号

令和７年度　第１０号（１月号）
令和７年１２月２５日
発行：佐世保市少年科学館

佐世保市少年科学館
星きらり

＜流星群・惑星の観察＞

宵の空は、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオン、ふたご座のポルックス、ぎょしゃ座のカペラ、おうし座のアルデバラン、オリオン座のリゲルと結ぶ「冬のダイヤモンド」にオリオン座のベテルギウスと木星が加わって、明るい星でにぎやかです。三大流星群の一つであるしぶんぎ座流星群の極大は1月4日早朝で、4日未明が観察のチャンスとなります。月が明るいため、条件は良くありません。夕方の西の空には、土星が見えています。23日には、細い月が土星に接近して見えます。



- 3日　満月
- 4日　地球が近日点通過

6時頃、しぶんぎ座流星群が極大（見頃は4日未明。1時間に15～30個程度。月が明るく条件は悪い。流星数は当たり外れが大きい）

- 5日　小寒（太陽黄経285度）
- 7日　レグルス食（日本では九州の一部および沖縄を除く地域で見られる）／金星が外合
- 9日　火星が合
- 10日　木星が衝
- 11日　下弦
- 17日　土用の入り（太陽黄経297度）
- 19日　新月
- 20日　大寒（太陽黄経300度）
- 22日　水星が外合
- 26日　上弦

☆１月の天体観望会のお知らせ☆

★17日（土）18:00～（1/4（日）から受付開始）＜土星・木星・すばる・冬と春の星座＞

電話予約制（23－1517）　定員50名程度

※当日が雨天、曇天の場合はプラネタリウムで星座解説を行います。

※観覧料：小中学生150円、高校生以上320円

未就学児は無料ですが、望遠鏡がうまくのぞけないことがあります。

厳しい寒さの中の観望会になることが予想されます。暖かくしてお出かけください。